

エッジの深度非表示チュートリアル

エッジの深度非表示_チュートリアル.zip



エッジの深度非表示_概要

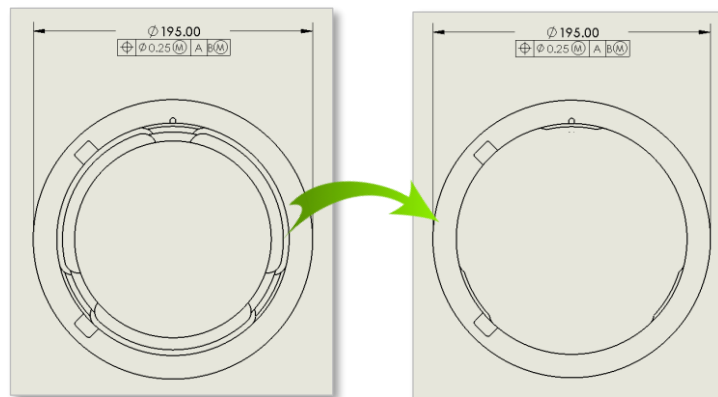
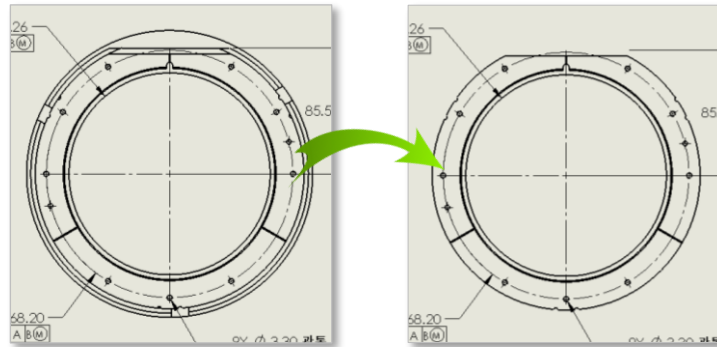
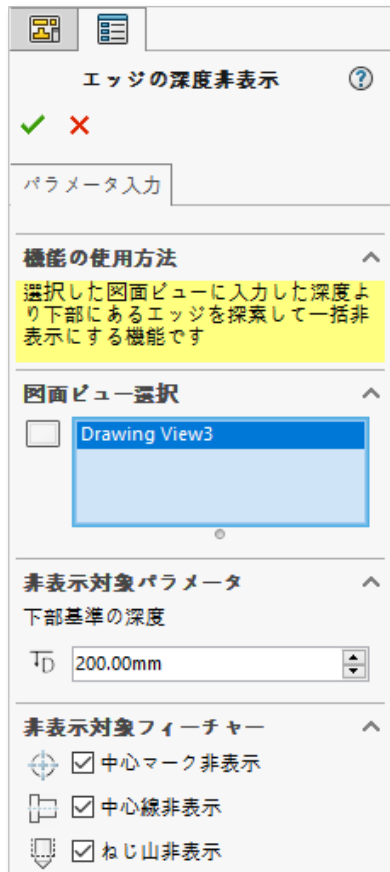
🔧 主な機能

- 図面上で見られる投象図、断面図の法線方向を基準に一定深さ以上のエッジ、線、オブジェクトなどを隠す機能
- 好きな図面ビューの深さの値を指定

⚙️ 業務効果

- エッジや線の一つずつ選択して隠したり消したりする作業を自動化
- 図面を読みやすくしているため、製造工程のコミュニケーションと作業に容易

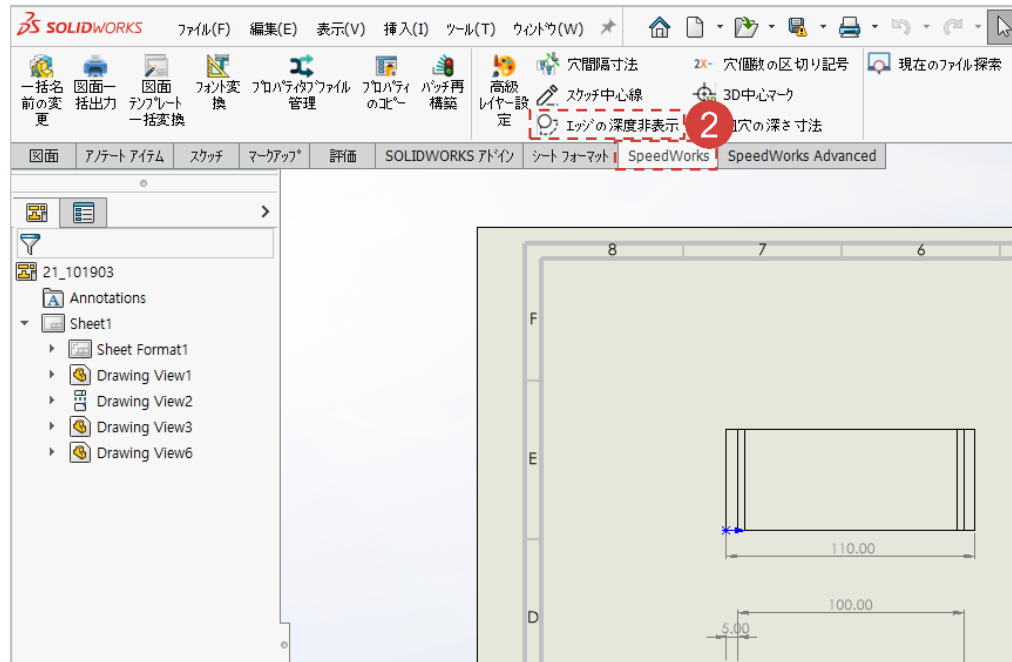
💡 レッスン目標：レッスンを真似しながらエッジの深度非表示の使用法を学ぶ



エッジの深度非表示_実行

① 例題のファイル中21_101903.SLDDRW ファイルを実行します。

② [SpeedWorks]タブ – [エッジの深度非表示] をクリックしてツールを実行します。



※例題ファイルは、SpeedWorksホームページのお客様サポート
>資料室 (<http://www.speedworks.info>) でダウンロードできます。

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

エッジの深度非表示_下部の図面を非表示

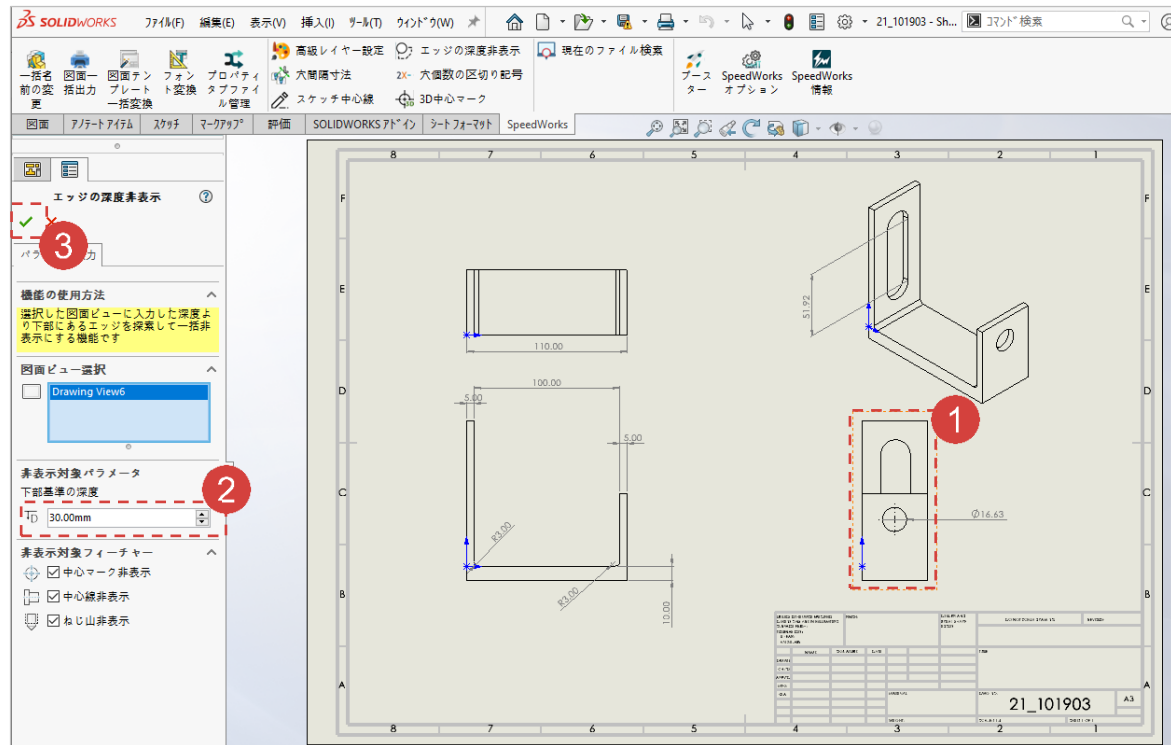
赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① [図面ビュー選択] 項目にDrawing View6を選択して追加します。(イメージ参照)

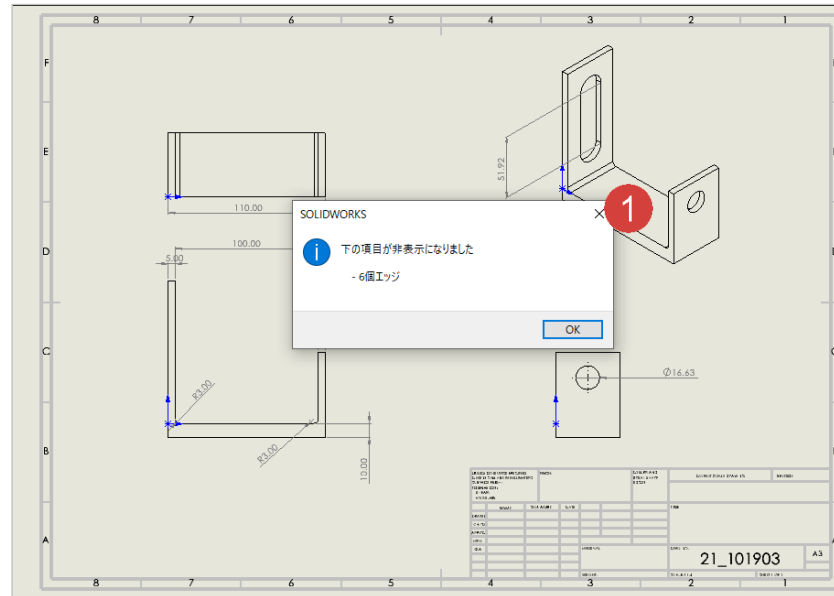
② [下部基準の深度]に'30mm' 入力

- ユーザーの目線を基準に、最初の面から30mm以上遠くにある線をすべて隠します。

③ [OK] ボタンをクリックします。



- 1 正常に非表示されると完了のウィンドウが開きます。[OK] ボタンをクリックします。



- 1 合計110mmの深さからビューの方向を基準に30mm以下の部分に存在する線がビューから消えています。

